

令和8年度の新たな取組について

令和8年度の新たな取組について

(1) バス・タクシー事業者人材参入促進・定着支援

【現状・課題】

- 人材確保に向けては、「参入促進」「人材育成」「離職防止」のそれぞれの観点からの取組が不可欠であり、これまで、職場環境整備支援や運転体験会等、参入促進に係る事業を実施してきたところ。
- 人材を確保し定着を図るため、各事業者においても戦略的な取組の必要性を認識しているものの、県内バス・タクシー事業者の中には、人員体制や時間の制約から、取組が困難な事業者も多数あると見込まれる。
- これらの状況を鑑みると、従来の取組に加え、個別の事業者に対するマンパワー面での支援が必要と考えられる。

人材確保や、人材育成、人材定着の取組についてアドバイザーによる個別支援を実施

○福岡県地域公共交通人材参入・職場定着支援事業（予算額:8,800千円）

【対象】 バス・タクシー事業者 10社程度を想定

【内容】 交通分野に精通し、最適な人材確保・定着のサポートが可能なアドバイザー(人材コンサル)を派遣

【支援期間】 概ね半年以上、対面支援等により具体的な成果に結びつくまで継続的な支援を実施

◎事業の流れ

事業の活用促進施策
の実施(効果的な求
人票作成セミナー等)



活用促進施策参加の
事業者にはアドバイ
ザー派遣の案内



10社程度の
事業者を選定



継続的な
支援を実施

令和8年度の新たな取組について

(2) 県内乗合バス事業者に運転士として、新たに就職する者に対する支援

【現状・課題】

- 実行委員会や作業部会で、県外からの移住希望者を対象に、移住支援策と連携した施策が実施できないかという意見が出されている。
- バス運転士専門の就職イベント「どらなびEXPO(東京会場)」で実施されたアンケート結果を見ると、参加者の約4割が関東圏以外での勤務地を希望しており、U・Iターン希望者も一定程度いると推測される。
- 一方で、三大都市圏からの移住希望者にとって、地方との賃金差は不安要素の1つと考えられる。全産業平均の賃金と比較すると、東京都・大阪府・愛知県の平均は約560万円であるのに対し、福岡県は約500万円と、その差は約60万円となっている。

三大都市圏からの移住に伴う収入減の不安を払拭し、バス運転士の確保を図る

○福岡県バス・地域鉄道運転士就職奨励金（予算額:16,818千円）

[対象] 三大都市圏から県内に転入し、福岡県内の路線を運行するバス事業者に新たに運転士として就職した者

[要件] 申請時において3カ月以上勤務していること

[奨励金額] 600千円

◎PR方法(予定)

三大都市圏で開催されるバス運転士就職イベントに、事業者とともに福岡県ブースを出展し、パネルやチラシを用いてPRを実施

◎移住就職者の定着支援(予定)

三大都市圏から本県に移住し就職したバス運転士の定着支援(例:奨励金受給者対象の交流イベントなど)

○本日の議論内容について

(1) バス・タクシー事業者人材参入促進・定着支援

- 事業者への効果的な周知方法として、どのような情報があれば事業者の関心を引くことができるか
- 事業者においては具体的にどのような支援をアドバイザーに期待しているか

(2) 県内乗合バス事業者に運転士として、新たに就職する者に対する支援

- U・Iターン等で県外から就職した運転士の事例
- 移住就職者の定着に向けてどのような支援があればよいか
- 市町村の移住・定住施策との効果的な連携に向けて